豊かで 住みよい 町づくり

上勝

VoL. 64

議会だより

2017. 2. 1 発行

成人式

2P 定例会　補正予算
3P 審議案件と議決結果
4P 主な質疑・討論
6P 議会の動き
7P 一般質問 7名が町政について質問
14P まちのようす

平成28年 第６回上勝町議会定例会 審議案件と議決結果

（第３日）平成28年12月21日㈬

○：賛成　×：反対　退：退席　－：議長が賛否に加わっていない場合

議案番号	件名	質疑	討論	結果	岡本明	星場眞人	岩本文昭	渡部厚子	鹿島國男	片山文昭	明本惠一	松下和照
議案第79号	上勝町福川グラウンド整備基金条例の制定について	有	無	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第80号	上勝町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第81号	上勝町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第82号	特別職の職員等の報酬、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第83号	上勝町特別会計設置条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第84号	上勝町簡易水道設置条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第85号	上勝町簡易水道給水条例の一部を改正する条例について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第86号	上勝町簡易給水施設条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第87号	上勝町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例等の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第88号	常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部を改正する条例について	有	有	〃	○	○	○	○	×	○	×	－
議案第89号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第90号	平成28年度上勝町一般会計補正予算（補正第３号）について	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第91号	平成28年度上勝町いっきゅう地区簡易水道事業特別会計補正予算（補正第１号）について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第92号	町道路線の認定について（西槻地線）	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
議案第93号	町道路線の認定について（下野北の端線）	有	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
諮問第94号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
上勝町選挙管理委員及び同補充員の選挙		無	無	選挙	○	○	○	○	○	○	○	－
発議第５号	上勝町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	有	有	原案可決	○	○	○	×	退	○	×	－
発議第６号	参議院選挙における合区の解消に関する意見書について	有	有	〃	○	○	○	×	○	○	×	－
発議第７号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について	無	無	〃	○	○	○	○	○	○	○	－
委員会の閉会中の継続調査について				承認	○	○	○	○	○	○	○	－

平成28年度 一般会計補正予算

（補正第３号）

第６回定例会

会期	開会	閉会
10日	平成28年12月12日	平成28年12月21日

追加額 **5,920万4千円**

総　額 **32億2,112万6千円**

質疑の結果　全員異議なく可決

主な予算

●工事請負費	傍示生実線法面補強	1,200万円
●工事請負費	谷口簡易給水施設	891万2千円
●設計委託料	瀬津野尻線改良	500万円
●工事請負費	町道維持補修	351万2千円
●負担金	自治体情報セキュリティ構築	275万7千円
●工事請負費	治山事業（神田地区）	174万円

平成28年度 いっきゅう地区簡易水道特別会計補正予算

（補正第１号）

追加額 **32万4千円**　総額 **1,216万5千円**

●備品購入費　水道検針用ハンディターミナル　32万4千円

主な質疑・討論

質疑

上勝町福川グラウンド設備基金条例の制定について

問 明本議員
終了の期限はいつまでか。

答 中原建設課長
平成30年度内を目標に事業完了を予定。

上勝町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について

問 明本議員
推進委員の主な任務とは。

答 吉積産業課長
農業委員の補助的な業務。違いは、議決権を持たないこと。

上勝町簡易水道給水条例の一部を改定する条例について

問 片山議員
南岡水道組合等の繰越金を、どうするのか。

答 花本町長
南岡の繰越金については検討中である。

常勤の特別職の給与及び旅費支給に関する条例の一部を改正する条例

問 明本議員
説明を聞いた覚えがない。いつ提案されたのか。

答 松下議長
議案第88号は、12日に提案がされている。

問 明本議員
常勤特別職の減俸理由は。

答 花本町長
多くの町費を出してしまい、一つのけじめとして提案をした。

問 明本議員
教育長は全く職掌外であり、減俸に値する落ち度は何も見当たらない。

答 花本町長
教育長から特別職であって管理の責任が少しはあるとご意見をいただいている。

問 明本議員
減俸2ヵ月と言うのは期間が短くないか。

答 花本町長
残された任期は、あと少ししかない。短期2ヶ月で、50％という提案をした。

討論

反対 明本議員
本当の責任所在が明らかではない。関係のない職務の人まで巻き込むのはおかしい。

賛成 渡部議員
この議場にいる者全員に責任がある。これで責任を取ったと思っていないはず。一応の責任として減棒は必要である。

平成28年度上勝町一般会計補正予算(補正第3号)について

問 星場議員
県単治山事業、神田地区とは、どこに位置するものか。

答 中原建設課長
神田地区阪松石材店すぐ横にある谷の上流部。

問 岩本議員
道路新設改良費の委託料、設計管理委託料とは。

答 中原建設課長
町道瀬津・野尻線、福原建設上で幅の狭い所の詳細設計分と、町道傍示生実線。斜面補強工事の詳細設計のための国からの補正予算に伴うもの。

問 鹿島議員
林道用施設災害の現場は。

答 中原建設課長
県営林道生実八重地線、生実側高木宅前。

町道路線の認定について

問 星場議員
下野北の端線は忠霊塔への道だと思うが、今まではどうしていたのか。

答 中原建設課長
忠霊塔への歩道があったが、下野線の車道延長時点で廃道になっていた。今回、車道が開設されたので改めて下野北の端線として提案するものだ。

問 明本議員
町道は何年何月何日に廃止になったのか。また、これは道路整備が必要な路線か。

答 中原建設課長
平成12年3月議会で歩道部分は廃止した。整備の必要性は不明だが、奥の方は舗装も整備されており、大きな整備は不要だ。

発議第5号 上勝町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

問 明本議員
議員の説明不足で理事者及び上勝バイオの両者に耳を傾けさせられなかったことが理由か。

答 片山議員
提案理由で説明した通りだ。

問 明本議員
力不足は私も認めるが、賞罰の原因にはならないと思う。全員協議会や特別委員会でそんな協議を聞いたことがないが、誰を、どの様に説得されたのか。

答 片山議員
四半期ごとの経営報告等や全員協議会の席上などで各議員が提案等を行っていたが、それを聞いてない明本議員は少しおかしい。各議員は幾度となく良い意見を出されていたと思う。

問 明本議員
個々の議員には調査権が無い。議案を修正するか否決するしかない。特別委員会で修正動議を出して方向を切り替えた。町長が責任を明らかにして減俸するというので、議員報酬の削減という案を出したのではないか。

答 片山議員
私が何も発言をしないと言った後で修正動議を出したとの指摘は矛盾する話だ。私たちがこういうことをすれば町長も同様に傾くのではないかとの説明をした。

問 渡部議員
経営が改善されなかった、議員の意見が反映されなかったというのはバイオの責任だ。片山議員は選別機を購入すれば活用されると思っていたか。

答 片山議員
選別機の導入で3～4名の人員削減と説明があった。最大の課題は人員の削減だと思っており、賛同した。

問 渡部議員
フル活用なら削減できるが、活用できると思ったか。

答 片山議員
説明を受け、その通りと思った。そこで私の判断が誤ったということだし、お金を入れたが私たちは指導にも行っていない。そういった意味、いろんな意味を含めてこの提案に至った。

討論

反対 明本議員
議員総ざんげ式のこの減俸案ではバイオの経営破綻の責任が明らかでない。こういう懲罰を提案する議会はモラルが問われる。幕引きなら3月議会にされたい。

反対 渡部議員
一々議員が責任を取っていたら大変だ。
しかし、議員が無駄な支出を許してしまい、多大な損害を与えてしまったのは非常に責任がある。だから減俸だとは思う。幸いに住民監査請求が出されて議員の仕事は残っており、今ここで提案する必要はないと思う。

発議第6号 参議院選挙における合区の解消に関する意見書について

問 明本議員
法律のみならず憲法改正も視野に入れてということが入っている。なぜ憲法改正と関係がないことを視野に入れて合区を見直すのか。

答 片山議員
そういう強い気持ちをもって合区解消ということで臨みたい。

討論

反対 明本議員
法に質問した。法律のみならず憲法の改正を視野に入れるという関係のないことをしなくても合区はできた。この意図するところを見抜く必要がある。改憲勢力は何かと改憲に持ち込み、9条を改憲して日本を軍事大国にしたい。憲法9条が本丸だ。

反対 渡部議員
一々憲法改正には巧妙なすり替えがあるので合区見直しは賛成だが、憲法改正には賛成できないので反対です。

上勝町選挙管理委員会委員に次の4名を選出しました。

●選挙管理委員

小出一郎 氏（生実）
舟井康雄 氏（福原）
蔭井房夫 氏（傍示）
美馬弘毅 氏（正木）

●選挙管理委員補充員

久保隆吉 氏（旭）
山本好惠 氏（福原）
中野晃治 氏（傍示）
宮本敏男 氏（正木）

※補充員の補充の順序は、委員に欠員の生じた最寄りの地域の者を第1位順位とする。

人権擁護委員に同意しました。

久保隆吉 氏

● 任期
平成29年4月1日より
平成32年3月31日まで

議会の動き

10月

11日　議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
13日　四国地区町村議会議長会研修会（高松市）
18日　議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
22日　議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
25日　議会広報調査特別委員会（議会だより編集）
　　議会全員協議会
26日～27日　町村議会広報研修会（東京）
28日　産業建設常任委員会

11月

9日　町村議会議長全国大会（東京都）
10日　徳島県町村議会議長会研修（茨城県常総市）
14日　議会全員協議会
28日　勝浦郡議会議員研修（小松島市、勝浦町）
29日　議会全員協議会

12月

5日　議会運営委員会
6日　議会全員協議会
8日　議会全員協議会
12日　**第6回定例議会第1日**（開会）
16日　産業建設常任委員会
20日　**第6回定例議会第2日**
21日　**第6回定例議会第3日**（閉会）
　　議会全員協議会
22日　徳島県町村議会女性議員連盟研修（徳島市）

本町の安全・安心をどう確保するか

各方面に協議しながら最善を進めたい

星場 町長

星場眞人 議員

問 先日、住宅が全焼する火災があったが消防設備等に不備は無かったか。

答 花本町長
先日の火災で全焼に至った主原因は全屋根が鋼板で覆われ、各棟間もトタンの庇で覆われており、消火の水がはじかれて火元に届かなかった。

防火水槽は町内に76基設置しているが、新規の設置要望があれば対応したい。簡易水道の消火栓は水圧が2～4kg 40㎜のホース一本で15～20メートルしか飛ばず、二本継ぐと水が飛ばない状況だ。

問 支所前のバス停は危険なので旧駐在所前に移転しては。また、信号機を点滅式にできないか。

答 花本町長
バス停は、四月に運航時刻改正と合わせて検討する。県警のご意見は、点滅式の信号機は逆に大事故につながるとのこと。

問 町営バスや職員の運転する車で事故が多く、住民が傷つくと困る。安全運転講習を行っては。

答 花本町長
町営バス等の事故多発は確認しているが、けが人が出ていないのは不幸中の幸いだ。運行業者に安全運転の指導徹底を確認した。職員にも安全運転の啓発をしている。

問 子供たちのインフルエンザ予防接種を全児童に全額補助されたい。

答 花本町長
インフルエンザ予防接種は効果と副反応等のリスクが伴い、保護者が接種を判断するため、接種勧奨に対する助成はしていない。小勝名管内の聞き取りでは石井町が中3生のみ一部助成している。

問 最近、厚労省から子供の医療費軽減町村へのペナルティーが一部廃止された。これは子供医療費に対する軽減策が必要との判断だと思うが。

答 花本町長
周辺市町村や内部で協議・検討するので検討課題とさせて頂きたい。

高齢化が進む町には独特の課題が山積する

問 高齢者世帯や一人暮らし家庭が増えた。信じられない事故も想定される。安全安心を確保するため、認知症サポーターの育成で事故を防ぎたいが。

答 花本町長
認知症サポーターは一時間半程度の養成講座を受ければ誰でもなれる。今年度は5回の講座を開催し、152人が受講した。今後も普及啓発したいので、事前に相談があれば少人数でも無料で対応して頂ける。

問 高齢化が進めば課題も多い。8050問題もあると聞く。その対応策を考えているか。

答 花本町長
親が80歳前後で50歳前後の引きこもり状態の子供がいる家庭だと認識している。当然、子供に安定収入は無く、親の年金等で生活しており、子供一人になった時は困ってしまう。現在、障害者年金をお持ちの方を除くと5人位と思う。この案件は非常にデリケートな問題であり、先ずは家族や親戚が対応すべきで、内容によって就労支援や裁判所による法定代理人の選定等、対応を考える。

町長選に再出馬を

問 町長の任期は残り4か月余り。来る年の町長選へ出馬表明を。

答 花本町長
振り返って三セクの経営改善に時間と労力を割いた。特に上勝バイオは多くの町費を投入させて頂いたが、ようやく存続の見込みとなった。本町に山積する課題解決の為に再度、立候補させて頂きたい。

他に『三セクへの赤字補填』『マイナンバー制度のメリット』等について質問した。

市宇～樫原間迂回ルートの進展が見えない

岩本

現在３路線開設中で有りその後になる

町長

岩本文昭 議員

問 2回にわたり期成同盟会が中心になりルートの検索が行われたがその後の進捗状況はどうか。

答 花本町長
4、5月に現地調査が済んでいる。地形の勾配等から一部に修正があり起点も修正してルートの設定をしている。ルートが決まれば事業計画に入る。3路線の早期完成を目指し、その後市宇～樫原間へと進むよう考えている。

問 期成同盟会は県森林協会の仮コースの案を待っている。現状はどうか。

答 中原建設課長
27年度の予算で調査委託業務を森林協会に委託して林道計画の図面を提案してもらっている。一部の修正が出来れば折を見て関係者にお示しをする段階であり用地の境界図確認は出来ている。

問 国には林道関係予算が充分有ると聞く、県と連携して上勝町も早急に対応すべきではないか。

答 花本町長
関係予算額については地方創生関係の事業である。現在の3路線の内2路線がその事業であり、1路線は農村漁村交付金である。市宇～樫原間は地域再生計画を立てて道づくり交付金の事業推進で申請している。余分の枠ではなく本町としては地域創生枠を使って事業推進をしている。

第三セクター関連

問 各社から中間決算の報告を受けて率直な感想はどうか、又危惧を抱くような事はないのか。

答 花本町長
㈱かみかついっきゅうは視察、キャンプ場等の委託管理が無くなり影響を受け前年比はダウンしているが100万近くの黒字を確保している。
㈱ウインズは533万4,000円の赤字となっているが、現在受注している事業ベースでは最終的には黒字が見込まれる。国調事業は7年程度で完了の見込みであり次の事業展開を図る必要がある。
㈱もくさんは非常に厳しい状況である。町の面積9割が山林であり最大の資源を何とか活かす模索を関係者としていく。
㈱いろどり、上半期は185万の黒字である、東京での物販事業等が利益につながり、リピーターも増えている。最終的には黒字決算が見込まれ堅実経営がなされている。

問 ㈱もくさんには危機感が感じられないとの声があるが。

答 花本町長
森林資源を生かさない限り持続可能な町づくりは難しいと考えている。もくさんだけ、森林組合だけでは出来るものではない。関係各位、行政もてこ入れして十分協議を行い活路を見出していきたい。社員全員が危機感を持って臨み受注を増やす様最大限の努力をして危機を乗り切ってもらいたい。せめて自分の食扶持位は稼ぐ気持ちを持てとのご意見も頂いている。

問 今後公金の投入はあるのか。

答 花本町長
上勝町の活性化を図るためには雇用の場を確保する必要がある。雇用の場をすべて民間企業が賄ってもらえれば問題はない。事業化のめどが立った場合三セクに限らず町は支援することが重要である。単に赤字補填にならない様、目を光らす努力をしていきたい。

町有林の管理について

問 現在の町有林面積はいくらか。

答 吉積産業課長
山林と保安林で104ヘクタールある。行政財産12ヘクタール、普通財産92ヘクタールで有るが役場の土地、日比ケ谷のもくさんが使用している土地も名目上は山林となっている。

問 今後の下刈り、間伐等の具体的な管理は。

答 吉積産業課長
管理が必要なのは流川の42ヘクタールである。平成29年度より企業局森づくり支援事業を活用し作業道1キロメートルを開設する。国の補助事業で搬出間伐を5ヘクタール実施する計画である。残りの山林については調査の上随時計画して行く。

廃棄家電手数料高くないか

相場の範囲内だ

渡部

企画環境課長

渡部厚子 議員

問 特定家電製品の運搬手数料2,000円の内訳は。

答 多田企画環境課長
NPOへの手数料が一台につき、1,080円、運送費が1回1万4,040円で26年度は720円の赤字、27年度は若干黒字になっている。

問 NPOはこれだけ必要なのか。廃棄料が5,000円を超えてしまう。町民はゴミ分別に大変協力してくれている。安くできないか。

答 多田企画環境課長
NPOも忙しい中で受け付けをしてくれている。国の指標では運搬料金は2,500円から3,000円程度となっているので相場の範囲内だ。

三セクは町民で運営を

問 上勝バイオの継承者は浜田氏と決まったようだが町の負担は。

答 吉積産業課長
バイオの取締役として浜田氏と協議を行なっている。設備投資等を浜田氏が負担するので施設使用料100万円を5年くらい減免していきたい。栽培ハウス7棟67万2,000円の使用料は払ってもらう。

問 町民で引き継ぎたいと申し出があったのでは。三セクとは町内の産業を育てるのが目的ではないか。そのために産業振興基金もある。それを赤字補填に使ってしまって、町の施設に町外の会社が入ったのでは三セクの本来の意義がない。

答 花本町長
赤字体質にならないための選択肢が浜田氏だ。

「人生いろどり」の経済効果は

観光客は来たか

問 映画「人生いろどり」には町が2,000万円出資したが、その後またロケーション地に看板を立てた。その後の訪問者数、関連収入は、また管理はどうしているか。

答 多田企画環境課長
管理は基本的に地主にお願いしてある。
訪問者数、収入に関してはデータを取ってないので把握は困難だ。

里山アートの経済効果は

問 里山アートも10年経った。今年度の訪問者数は、経済効果は。

答 多田企画環境課長
不明。ただ、「まるカミ」の電子データへのアクセスは7箇所合計で407回あった。

問 今後運営はどうなる。

答 多田企画環境課長
生実地区以外は借地契約存続。
管理については正木と福原の団体は継続が難しいということで、別途方策を考える。他の3団体は継続に同意している。

「彩山」の具体案は

問 買収の済んだ温泉下の5アールの土地で彩セラピーをするとのことだが、詳しい計画内容は。
また、彩山計画の総売り上げ予定5億円のうちどれぐらいをこの5アールに見積もっているか。

答 多田企画環境課長
いろどりセラピー計画という表現をしただけで確定したものではない。詳しい内容は未定だ。
経済効果まで試算できている状況ではないが、温泉、キャンプ場の交流人口を現在の7万9,000人から5年後には11万人に伸ばしたい。そうなれば売り上げの伸びも確実に見込まれる。

問 漠然としすぎてないか。いろどりの映画も里山アートも人がどんどん来るぞ、経済効果が出るぞと言って、何もなかった。もっと具体的な計画は立ってないのか。

答 多田企画環境課長
今企画中で、具体化していないので答えられない。

人手不足をどうする

問 晩茶、柑橘類など好調な従来の事業が、人手不足に見舞われている。これをどう思うか。

答 吉積産業課長
現在、上勝町の農地の2割が耕作されていない。
働き手を確保するには町内に営農組織を設立するなど一歩踏み込んだ政策が必要だ。関係機関とも協議しながら新たな仕組みを実施できるようにしたい。

上勝町から那賀町へのトンネル計画は

問題意識を共有して機会を捉え話をしていく

片山　町長

片山文昭 議員

那賀町と連絡し推進協議会等の設立を

問 旧木沢、旧上那賀、旧木頭地区の人たちが県庁へ行くのに最短コースと思う。

上勝は、葛又か八重地付近になると思われる。出口は出合橋あたりが最短のコースであり、完成後は高知県へ高速道路を使わなくても早く行けるのでないか。

那賀町とも連絡し推進協議会等を設立したらどうか。

答 花本町長

10年前位に、勝浦、那賀、上勝町で署名をとって促進をしてきたこともある。

県にも聞いたが、公共事業の総量、並びに南海トラフ対策等で当分の間は、新規事業は難しいとの回答だった。

問 現在の1.5車線化が終了する前に計画を軌道に乗せるべきでないか。

答 花本町長

1.5車線化が終了し、間があいては困る。

県議、関係町長も問題意識を共有しているので、機会を捉え話をしていきたい。

上勝診療所と院外薬局

上勝診療所福原診療所の経営状況は

問 上勝診療所院外薬局を実施後の経営状況は。

答 峯下住民課長

診療収入、また、歳出とも約1,800万円の減額になっているが、職員も1名減り、経営状況は、過去3年間黒字で繰越金を含めた実質収支は約3,200万円の黒字で推移している。

問 福原診療所の開業日数、1日の受診者数、経営状況は。

答 峯下住民課長

開業日数は99日で1日あたり平均8人ぐらい。

経営状況は、赤字決算となっていて一般会計より約600万円を補填している。

問 福原地区の高齢者の命をつなぐ大切な施設である。診療所全体で赤字になる前に経営を検討していただきたい。

答 花本町長

来期は、診療所の先生が変わる。

研修医の先生が就任予定。研修のため1日は診療しない日が出来る。

福原診療所も、開設時間等の影響が出て来る。

林業技術者の育成は

問 地域創生総合戦略の中で、平成26年度林業労務者が17名とあるが、年齢構成はどうなっているのか。

答 吉積産業課長

20歳～30歳1名・31歳～40歳4名・41歳～50歳4名・51歳～60歳4名・61歳以上4名で合計17名と成っている。

問 地域創生総合戦略の中で林業技術者を5名育成とあるがどのような取組みをして来たのか。

答 吉積産業課長

具体的取り組みは出来ていない。林業労務者の大切さ、重要さは痛感しているので、具体的方策を検討していく。

問 ㈱もくさんと林業従事者育成の話し合いが出来ていない。資金も枯渇するようだ存続の意義はあるのか。

答 花本町長

現金はある。

経費削減を最大限実施し何とかしのぎ、その間に解決策を見出したい。

上勝バイオは放漫経営だ

技術革新ができなかった

明本　町長

明本惠一 議員

12月で全員解雇

問 上勝バイオは放漫経営で事業は休止となった。一億三千五百万円を一般会計から補助するのは、公共性はない。

答 花本町長

公益性がある。倒産すれば三億円の売上げが消え、雇用が無くなる。

問 公共性とは、交通・電気・水道など公衆の日常生活に不可欠の事業、椎茸製造会社は違う。

答 森副町長

倒産すると、投資資産が失われる。売上げと雇用損失は地域の損失だ。

休止した上勝バイオ

問 バイオ残せば、さらに町費投入が必要だ。

答 花本町長

補助金は、議会で決議された。

浜田農園との確認書は

問 押印のある確認書はあるか。

答 花本町長

北研に改造する、大型投資を要すが町は金を出さない。町資金の垂れ流しはしない。押印していない。

経営再建の方向誤った

問 放漫経営が経営破綻の原因だ。画像読取装置、自動計量パッキング装置、有機H－ハウス等設置、全てムダだった。

答 花本町長

技術革新が出来なかった。

テレビとインターネットは

問 テレビ徳島とNTT西日本が裏で談合し闇から闇に「抱き合わせ料金」を分け取りしている。不当だ。

答 花本町長

談合とは不愉快だ。

「抱き合わせ販売」は法律違反と云うが弁護士に相談した。違反ではない。

県道に温度表示器を

問 正木トンネル藤川側入口に温度表示器を設置して、交通安全をはかるべきだ。住民の要望がでている。

答 中原建設課長

住民の意見を県の方へあげる。

ここに気温表示器を

ゴミセンターは大幅な計画変更を

問 ゴミセンターに宿泊施設は不要だ。宿泊者は月ヶ谷温泉へ。

答 花本町長

ゼロ・ウエイスト体験をさせる。

問 ガラス張り回廊は有害無実だ。視察者は町民と交流を求めている。

答 花本町長

見られるのを恥ずかしがる。

いつまで放置しておくのか　岡本

早急に対応したい　建設課長

岡本　明 議員

問 八重地・いっきゅう地区簡易水道の基礎やパイプが、台風の影響でむき出しになっている。あの状態をいつまで放置しておくのか。

答 中原建設課長 現地調査を行い、早急に対応したい。

問 水源地に行くのにも危険な状態になっている。安全な管理作業ができるよう、右岸側に作業道を確保できないか。

答 中原建設課長 許される範囲の中で、通れるような形にしたい。

複数の箇所から着工を

問 八重地・市宇・樫原の3地区を結ぶ連絡道路なので距離がある。一部から工事をするのではなく、3箇所位から同時に工事に入ることはできないか。

答 中原建設課長 予算にも限りがあるが、ロスのない工事を検討したい。

問 要望をきちっと出し、複数の箇所から着工してもらいたい。

洗堀された いっきゅう水道水源付近

全線開通を

問 八重地、市宇地域の林道、作業道に行き止まりが多い。つなげる事はできないか。

答 中原建設課長 地形や地権者の意向などがあり、財政的にも厳しいことから、優先順位を考え、先の対応になる。

県道拡張工事の進行状況は

問 田野々から八重地までの拡張工事の進行状況は。

答 中原建設課長 八重地の製材跡の下流、川側の補強工事を発注しており、年明けから工事が始まる予定になっている。

問 今までの河川工事は、鮎やアメゴの釣りシーズンに影響を及ぼしている。県への要望を早めに出し、早期着工、完成を念頭に置いて進めてもらいたい。

迷惑電話への対応は

問 職員から迷惑電話がある事を聞き、総務課長に相談後、早期対応となったが、どのような状況であったか。

旧八重地製材跡下流

答 横山総務課長 総務課で認識したのが、平成26年5月頃から始まり、その年の後半から特にひどくなった。一番多かったのが、平成28年9月に1時間半の間に160回あった。

業務に支障をきたす為、非通知設定での着信を拒否する形をとることにした。

分譲地の検討を

問 3月議会で分譲地の検討をしていただけるとの事だったが、その後の状況は。

答 花本町長 住民のニーズを把握する為に、UIJターン者を対象にアンケート調査を実施することになっている。その結果によって、対応を検討していきたい。

辰ヶ谷、柳谷線の舗装は　鹿島

県単林道事業で　建設課長

鹿島國男 議員

問 杉山から柳谷への林道の舗装は。

答 中原建設課長 路面の洗掘の著しい区間は、平成22年に270m舗装した。電源交付金を使っての工事は難しいと思われる。県単事業の予算枠は厳しいが採択された場合は、自元負担金が15%いる。現地を調査する。

ドローンの講習会をしては

問 最近テレビや那賀町、第三セクターの「いろどり」でドローンを使った出荷を試験していた。ウインズの社長もドローンを使って、測量に活かしたいと言っている。今後、多方面に利用されると思われるので、町で操縦できるよう講習会を開いてはどうか。

答 横山総務課長 ドローンについては、那賀町や農業新聞で農薬散布、観光、測量や設計、行方不明者、災害の情報、被災状況などに活用が考えられる。町内にドローンを操縦できる人がいるので周りの状況を見ながら検討したい。

荒れた辰ヶ谷線

住宅の耐震工事について

問 住宅の耐震工事の補助金が上限80万円に上ったと聞いたが。

答 中原建設課長 国、県の補助金を活用した木造住宅耐震化促進事業を実施している。5月、8月号の広報で周知した。工事費は、6畳で120万円から130万円、8畳で150万円から160万円。

風力発電の進捗は

問 風力発電の進捗状況は。

答 多田企画環境課長 9月議会の説明と変っていない。町のまとまった調査業務を終えて詳細設計、机上調査、それと許認可取得協議を進めている。営業開始は平成33年を目標にしている。

問 許認可申請は許可出ているのか。

答 花本町長 許認可を進める上で地権者の合意形成が必要である。土地は高鉾財産区、要は、地上権、個人の物、上物については、地上権の設定が必要であり契約が伴ってくる。いくらで貸すかは既に掲示がある。今、再度練り直している。今後、徳島県と公社の地上権を外し、ユーラスでない別の会社と地上権の設定をすることになる。

風力発電施設

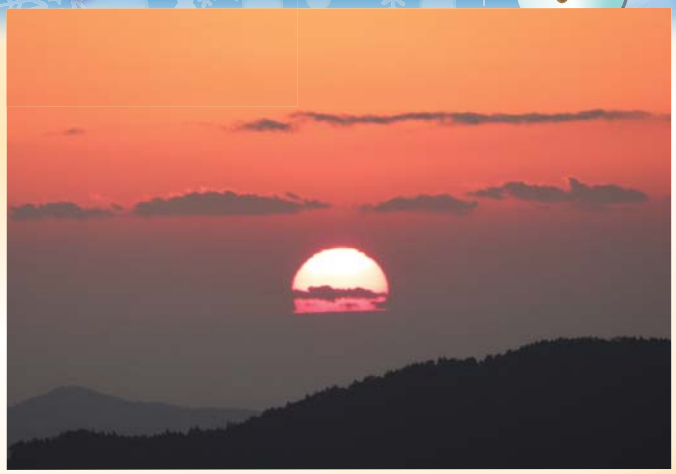
鳥インフルエンザについて

問 鳥インフルエンザの取り組みは。

答 吉積産業課長 本町には6戸、10万1,000羽いる。県が主体となって、野鳥や小動物の侵入防止のための金網の点検、石灰による消毒の徹底、異常家禽の早期発見、通報の呼びかけ等注意喚起を図っている。

まちのようす

彩の年末出荷状況（JA上勝支所）



高丸山からの初日の出

出 初 式

市宇地区敬老会

ジャンボ門松（旭地区）

成 人 式

編集後記

編集委員会参加して今回で1周年になりました。昨年八月には徳島県町村議会議長会の広報作成講座に参加し、よく読まれる編集の仕方など勉強してきました。

過去一年間、いろどり山、ごみステーション等の新企画。そして第三セクター、㈱もくさん・㈱上勝バイオなどの経営危機問題など、町民の皆さんの関心の深い内容を簡潔に、わかりやすく編集することに努力しました。お陰様で、議会傍聴者も増えてきており、この仕事にやりがいを感じている次第であります。他の先輩編集者のみなさんのリードにより一層勉強してまいりたいと考えています。

（明本）

発行／上勝町議会　〒771-4501 徳島県勝浦郡上勝町福原　☎0885(46)0111　IP 050-3438-8071　編集／議会広報調査特別委員会　印刷／鳥海印刷㈲

この広報紙は再生紙を使用しています。